



松戸市立総合医療センター

医療連携 News

第196号 (2023.9)



編集・発行 松戸市立総合医療センター 地域連携室
〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993-1 電話 047-712-2511 (代)
<https://www.city.matsudo.chiba.jp/hospital/>

医療機関各位

松戸市立総合医療センター
病院長 尾形 章

初秋の候、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。
平素より、当院に対して一方ならぬご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。
医療機関の皆様方へ毎月お送りしております「医療連携News」を是非ご高覧いただき、また患者さんへ必要な情報を提供いただけましたら幸甚に存じます。



放射線治療科のご案内

今月号では、放射線治療科をご紹介します。



小林 裕樹部長（中央右）、福島 正秀副部長（中央左）と
放射線治療科スタッフ一同

【特色】

当院で採用されている放射線治療装置（リニアック）は『定位放射線治療（SRT）』や『強度変調放射線治療（IMRT）』といった高精度治療に優れた性能を有しています。

また通常の治療でも放射線治療専門医の資格を有する医師が治療計画を行い、さらに医学物理士による計画の最適化や検証により有効性や安全性を高める努力をしています。

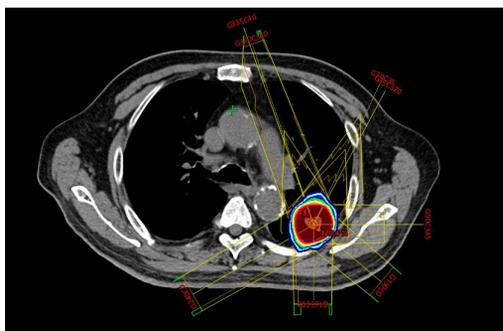
【高精度治療】

当院では通常の治療に加え、SRT（定位放射線治療）やIMRT（強度変調放射線治療）などの高精度治療を実施しています。

SRTとは、『限局した小腫瘍に対し局所制御の向上と周囲臓器への有害事象の軽減を目的に、多方向から照射する技術と病変に正確に照射する技術を併せることで、通常の放射線治療よりも大線量を短期間で照射する治療』とされ、通常は長径6cmに満たない範囲へ6～10方向から集中的に照射します。手術と同等の有効性をめざして行う、極めて攻撃的な治療といえます。

手術不能のI期肺癌や同規模の孤立性肺転移に対してはすでに標準治療とされていますが、肝がんやオリゴ転移などの他の孤立性腫瘍においても適応となることがあります。

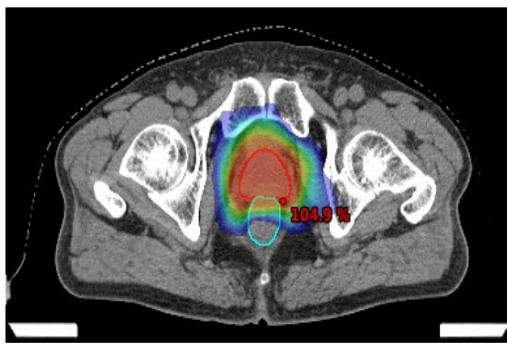
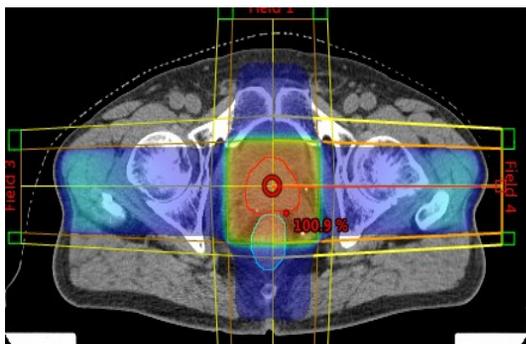
多くの場合、1回30分程度の治療を約2週間の間に4～8回行い終了します。治療中の有害事象は極めて少なく、通院治療で実施可能です。治療期間中の行動制限もほとんどありません。



※肺癌に対するSRTの1例

IMRTは『空間的、時間的に不均一な放射線強度を持つビームを多方向から照射することにより、病巣部に最適な線量分布を得る放射線治療方法』と定義されています。

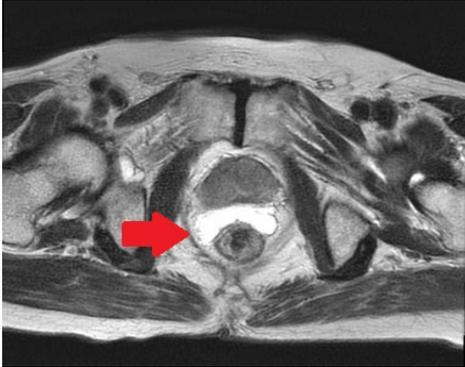
しかし実際には病変部へ十分な線量を投与しながら、病変周囲にある臓器（リスク臓器）への線量を減らし有害事象を軽減する守備的な役割が求められています。代表的なリスク臓器としては前立腺領域における直腸や膀胱、頭頸部領域における唾液腺や脳幹・脊髄などが挙げられます。近年は骨盤領域での腸管毒性軽減を目的とした研究も進んでいます。



※前立腺癌に対する通常の放射線治療（左）とIMRT（右）の線量分布の違い。特に前立腺背側の直腸への線量が軽減されている。

当院では2020年12月から本格的な運用が開始しました。これまで様々な腫瘍を対象としてきましたが、特に前立腺癌は院内外からこれまでに70例以上の依頼を受け治療を実施しています。かつて前立腺がんの根治放射線治療には2ヶ月の通院が必要でしたが、IMRTなどの技術の進歩により限局期であれば1ヶ月程度までの治療期間短縮が可能となってきました。

さらに泌尿器科の協力により、前立腺への金製マーカー留置（経皮的放射線治療用金属マーカー留置術）や直腸前立腺間へのハイドロゲルスペースャ留置（経会陰的放射線治療用材料局所注入）を実施しています。これにより治療精度のさらなる向上や直腸の有害事象軽減が可能となりました。



※ハイドロゲル直腸周囲スペースャ留置後の1例。なお前立腺と直腸の間に留置されたハイドロゲル（矢印先）は留置後数ヶ月すると徐々に体内に吸収されていく。

・緩和照射

放射線治療はがんの根治だけが目的ではなく、がんによる様々な症状（疼痛・出血・神経障害・気道狭窄など）の緩和も重要な目的となります。これらの効果は、目的にもよりますが、がんの種類によらず6～9割に得られるといわれています。

照射は通常1日1回、1～2週間程度で終了します。照射する線量が少ないため、多くの場合有害事象は軽微で自覚症状が全くないこともしばしばです。さらに近年の研究で、骨転移による疼痛緩和や、腫瘍からの出血などでは1回だけの照射（単回照射）でも複数回の照射と同等の効果が得られることが分かってきました。単回照射は準備を含めても数回の通院で済むため、患者さんの様々な負担をより軽減できます。

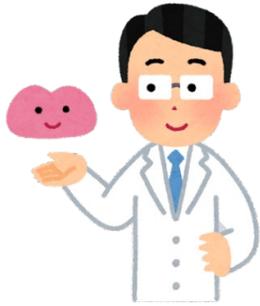
当院で放射線治療を受けられる患者さんの4人に1人が症状の緩和を目的としており、決してめずらしい治療ではありません。治療適応について悩まれた場合もぜひ一度ご相談ください。

 臨時休診等お知らせ (2023年8月9日現在)

9月 医師の休診			10月 医師の休診		
血液内科	山子医師	5日(火)	整形外科	弓手医師	2日(月)、6日(金)
眼科	樋口医師	20日(水)	内科	松木医師	20日(金)
耳鼻いんこう科	松葉医師	20日(水)	眼科	豊北医師	27日(金)
	山崎医師	29日(金)	10月 全休診		
整形外科	弓手医師	1日(金)	小児脳神経外科	24日(火)、27日(金)	
	三上医師	6日(水)、20日(水)			
	小島医師	25日(月)、26日(火)			
脳神経外科	渡邊医師	26日(火)、29日(金)			
脳神経内科	吉澤医師	28日(木)			
9月 医師の代診					
耳鼻いんこう科	松葉医師→松崎医師	21日(木)、22日(金) ※午前のみ			
	山崎医師→松崎医師	29日(金)			
小児脳神経外科	宮川医師→佐々木医師	8日(金)			
9月 全休診					
小児脳神経外科	1日(金)				

市民公開講座について

松戸脳卒中ネットワーク 市民公開講座 脳卒中について知ろう



2023年

日時: **10月28日(土)**
14:30~16:30(受付 14:00~)

参加費無料

事前申し込み不要
先着45名

※当日直接会場にお越しください
先着順で定員になり次第受付終了
※体調不良の際はご来場をお控えください

場所: 松戸市民劇場 1階 第2・第3会議室
松戸市本町 11-6
松戸駅西口から徒歩5分 ※駐車場はありません

プログラム(予定)

司会 / 松戸市医師会 斎藤 一郎
閉会の辞 川越 正平先生 松戸市医師会 会長
14:30~

講演1 脳卒中リハビリテーションについて

14:35~15:05 【演者】中野 真吾先生 松戸リハビリテーション病院
理学療法士(脳卒中認定)主任

講演2 歯周病と全身疾患~脳卒中と口腔ケアの関係~

15:05~15:35 【演者】青木 暁宣先生 松戸市立総合医療センター
歯科口腔外科 主任部長

.....休憩 15:35~15:45.....

講演3 脳卒中治療の今

15:45~16:15 【演者】西村 寿貴先生 松戸市立総合医療センター
脳神経内科 部長

講演終了後 皆様からのご質問を受け付けます。

閉会の辞 川越 正平先生 松戸市医師会 会長
16:30~

松戸市民の方は
「まつど
健康マイレージ」
5マイル
が取得できます。



主催 松戸市医師会

後援 松戸市

お問い合わせ

松戸市医師会事務局
電話 047-368-2255